

# 市民の生活の移動手段となる 地域公共交通

地域の課題解決の「手となるか。  
大田市内での新たな実証実験について  
を紹介します



## Green Slow Mobility グリーン・スロー・モビリティ

グリーン・スロー・モビリティ（以下グリースロ）は二酸化炭素を排出しない電動車両を利用して、地域が抱える交通課題の解決を目指す取り組みです。

大田市大森町の世界遺産

「石見銀山遺跡とその文化的景観」内では、石見銀山公園から龍源寺間歩までの車両進入規制区間（約2.3km）の利便性向上や大森の町並みの公共交通空白地解消を目指し、

昨年、環境省事業に申請し、環境に配慮した持続可能な公共交通を目指すグリースロモデル事業の実証地域として、全国7地域の1つに選定されました。

昨年12月から大森町内でグリースロ実証実験が行われており、地元住民や事業者と協議を重ねながら、今後の運行方法について検討を行っています。



大森の町並みを走るカート

今後はインターネットを用いたバスロケーションの導入などを計画しています。

### 【お問い合わせ先】 大田市観光振興課 080-544-80-1000

## Mobility as a Service モビリティ・アズ・ア・サービス 「井田いきいきタクシー」

モビリティ・アズ・ア・サービス（以下MaaSマース）はスマートフォンのアプリ等のICT技術を用いて予約や決済が行える新たなサービスです。

温泉津町の井田地区は少子高齢化が著しく、地域の住民は温泉津町中心部へのアクセスに不便さを抱えています。昨年、国土交通省のモデル事業に採択され、11月から運行の実証実験が行われています。

注目すべきは、スマートフォンで予約・決済が出来るMaaSを取り入れているのはもちろんのこと、月額3300円の定額制であるという点です。利用者の負担が少ない定額制で、安心して利用できます。この方法が中山間地域の抱える課題解決策のひとつ

になることを期しています。昨年11月に行われた出発式では、地域住民が実際に乗ってみて、利用方法を確かめました。井田地域自治会の鳶川会長は、「高齢になり車の運転をやめると閉じこもりがちになる心配があるが、定額タクシーがあれば住民の生活範囲が広がる」と期待を寄せました。



になることを期しています。昨年11月に行われた出発式では、地域住民が実際に乗ってみて、利用方法を確かめました。井田地域自治会の鳶川会長は、「高齢になり車の運転をやめると閉じこもりがちになる心配があるが、定額タクシーがあれば住民の生活範囲が広がる」と期待を寄せました。

なることを期しています。昨年11月に行われた出発式では、地域住民が実際に乗ってみて、利用方法を確かめました。井田地域自治会の鳶川会長は、「高齢になり車の運転をやめると閉じこもりがちになる心配があるが、定額タクシーがあれば住民の生活範囲が広がる」と期待を寄せました。



出発を見送られる井田いきいきタクシー

### 【お問い合わせ先】 大田市まちづくり課 080-544-80-1000



石見交通バス

公共交通の減少!  
バス運転手  
担い手不足が深刻です

公共交通の根幹を支える路線バスの担い手不足が深刻化しています。運転手の高齢化や、若い運転手が不足しており、大田市に限らず全国的な問題となっています。原

因のひとつは大型二種免許の取得が低下していることがあります。若い世代が気軽に取得できるようになれば課題解決の可能性が生まれそうです。

免許を取得している方は、ぜひ大田市へUターン、Iターンして力を貸してください。みんなで更に住みよいまちづくりを目指しましょう。